

議会運営委員会 行政視察報告書

【視 察 日】 令和4年10月12日（水）～13日（木）

【視察委員】 油井和行委員長、植田裕明副委員長、石井通春委員、鈴木岳幸委員、平井登委員、多田晃委員、岡村好男委員、小林和彦委員、大石保幸委員、山根一議長、遠藤久仁雄副議長

【視 察 先】 茨城県取手市・牛久市

≪10月12日（水） 茨城県取手市≫

【調査事項】 議会改革の取組について～議会改革度ランキング全国1位の取組



①市の概要

茨城県の南端に位置し、利根川と小貝川の二大河川に囲まれ、水と緑に囲まれた地域で、面積は 69.94 km²、人口は約 106,000 人。南部の玄関口として、また東京・成田・つくばを結ぶ三角形の中央に位置し交通の要となっており、首都圏の中でも、交通の利便性と自然環境に恵まれた都市環境をもっている。

② 取組の経緯・内容

ICT やオンラインを用いた取り組みとして、各常任委員会や特別委員会がオンライン配信、Zoom による委員会は 360 度カメラ導入で、議員・執行部・会場の様子を切り替えて視聴でき、委員は自宅や仕事先からの参加でもよい。市長提出議案も表決システムにより賛成・反対・棄権の採決をする。SideBooks の「通知」機能で他の資料の頁を見ることができ議案説明時に複数の資料を瞬時に説明者の説明に遅れることなく付いて行ける。提出予定議案オンライン事前説明（市長が議場で）をビデオ録画で配信。その他、現地審査や市民との意見交換会（時間・場所を問わず自宅からでも）もオンラインで実施。議会災害対応訓練、各種オンライン研修に参加、予算・決算書のデータ配信（ペーパーレス）と徹底している。

③ 今後の課題

議会事務局の担当職員による裏方的リードが有った取組で、この職員が異動になっても同じように続けられるのか？（新人議員との ICT 能力に差が生じないか）

災害対応訓練の情報伝達に関しては、各議員からの膨大な情報が災害対策本部の活動の妨げにならないよう配慮が必要。

オンラインの利便性と、根本である対面との併用。YouTube の視聴者数。

選挙における投票率の低さ。

④ 本市に反映できると思われる点

Zoom によるオンライン委員会の開催をはじめ委員会審査の配信。

SideBooks の更なる機能の使いこなしによる ICT 能力の向上。

学校での議会を知ってもらう出前講座の開催。

議会による災害対応訓練、地図を利用した被災箇所の情報把握の研究。

《 10月13日（木） 茨城県牛久市 》

【調査事項】 議会改革の取組について～You Tube チャンネルの運用



①市の概要

田園や里山が広がる豊かな自然環境と、充実した都市機能を併せ持ち、市内に2つの駅があり、東京駅・茨城空港・成田国際空港まで約50分の距離とアクセスが便利。

面積は 58.92 km²、人口約 84,000 人、65 歳以上が元気で長生き、市民の住み心地満足度 90.3%。

②取組の経緯・内容

ホームページに掲載している定例会の動画は2年分のみ。「2年以上前の動画が見たい」「タブレット・スマホで閲覧できない」などの市民の声があったこと、また最大のきっかけは「コロナ禍で議会報告会をどう行うか？」であり、広聴特別委員会での「動画を作成して配信したらどうか」から、動画配信手段として YouTube チャンネルを開設した。

なぜ、YouTube なのかは、情報発信型のソーシャルメディアの中で、発信側も視聴者側も気軽にできること。

議会側のメリットは初期費用が不要、開設や投稿の手続きが簡単、視聴者数などの把握ができ、市のサーバーに負担をかけず動画を公開することができること。市民にとってのメリットは自分の持っているデバイスで、気軽に視聴することができ、老若男女問わず、多くの人に見てもらえ、議会の活動を知ってもらえるきっかけになること。

議会だよりの一般質問の記事に QR コードを掲載することで YouTube チャンネルを見てもらえる工夫をしている。また若い世代へのアプローチとして「YouTube チャンネルみてね」を発信することにより小学生でも見てもらえる、（とりあえず）なんとなく見てもらえる、きっかけづくり、話題づくりになっている。

① 今後の課題

YouTube 配信導入後の市民の反応や効果は、令和4年第1回定例会より本会議の動画（録画）を配信しているが、チャンネル登録数は16人（議員は20名）と、まだまだ認知度は低いのが現状。しかし議会報告会は1,000回を超える再生回数である。

市民からの反応は「いいね」数だが、的確に掴むため双方向の通信（Twitter、Zoom）を利用した意見交換会、リアルタイムでの議会中継の配信を検討中。

YouTube の編集は事務局職員が行っているが、今後議員の関与（主導）があるのか？

② 本市に反映できると思われる点

YouTube を配信するための初期費用（YouTube マニュアル、iPad 用三脚、外付けマイク、クロマキー。合計 28,660 円）が非常に安く抑えられており導入の敷居は低くなる。

YouTube は子ども達には大変身近なツールであり、若者の政治参加率を高めるために有用である。また、時代状況に応じた議会改革に柔軟に対応していく姿勢についても参考にしたい。